

第 5 期 pES club step4 大会看護学生シナリオ

平成 18 年 7 月 2 日

聖路加看護大学 看護実践開発研究センター

江藤 宏美

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたはいいお産クリニックで実習を行っている看護学生です。

今日は外来実習です。妊婦健診で受診している妊婦さんのうち、貝街^{かいがいの}寿美子^{すみこ}さんの担当になりました。寿美子さんは 32 歳、初産婦で、現在 20 週になったところです。初めてのことで妊娠中の過ごし方や、お産のようす、産後のことについていろいろ興味をもって尋ねてきます。

健診が終了し、寿美子さんはもじもじして何か尋ねたそうにしていました。

あなた「これまでのように、今日の健診でも妊娠の経過は順調で、赤ちゃんも週数相当に育っているようですね。貧血もないし、お食事にも気を配っていらっしゃるんでしょうね。なにか、心配なことはありますか。」

寿美子さん「はい。実は、夫の転勤で海外に引っ越すことになりました。サンフランシスコなんです。こちらに残ってお産した方がいいのか、あちらで産んだ方がいいのか迷ったんですが、夫の転勤にいっしょについて行ってあげた方がいいのかなと思っています。それで、いつ頃行った方がいいのか、注意することは何か、まだまったく調べていないので、少し情報をもらえるとうれしいのですが。」

あなた「そうなんですか。それはたいへんですね。きっと忙しくなると早産になりやすくなるのではないかと思います。調べ次第お伝えするということでいいですか。」

寿美子さん「もしよかったら、今日の午後にでも、その早産のこととか、飛行機はいつまで乗れるのかとか、情報をいただけるとうれしいです。」

あなた「わかりました。できるだけ調べてみましょう。」

このようにして、まずは、妊婦の飛行機の搭乗規定、それから妊娠中の切迫早産の発生する要因と注意事項などについて、10 分間で寿美子さんに説明し、さらに欲しい情報の調べ方についてアドバイスをすることになりました。